

# 高校人国記

広島大学付属高校(広島市南区)⑤

## 若き日財産に 経済界けん引

経済界けん引



建築されて94年の講堂で歴史を振り返る鈴木由美子校長(左)と高校の砂原徹副校長(右)、中学校の日浦美智代副校長。ロマネスク復古様式の重厚な建物で國の有形文化財に指定されている

### メモ



<学校史より>科学特別学級の開設(第2次世界大戦末期、科学戦を勝ち抜くため優秀な若手科学者の育成を目的に1~3年に1学級ずつ編成された)▽農村への疎開(戦争末期、広島市内での建物疎開などの作業を危険と考えた教員たちが、食糧増産のための勤労奉仕を名目で多くの生徒を農村へ疎開させた)▽原爆の被害(爆心地から1.5キロの校舎は全焼。教職員7人と在校生19人が犠牲になつたこと、「創立百年史」にはある)

<特色ある取り組み>アカシア賞(1951年以来、科学研究、芸術・文化、体育などの優れた活動を毎年顕彰してきた。2020年度は国際数学五輪で銀メダルを獲得した渡辺直希(ほかが受賞)▽自署名簿(毎年、卒業生が各自の将来の抱負などを墨書きし学校に残している。1949年に始まった)▽スーパーサイエンスハイスクール(2003年以来、文部科学省から継続して指定を受け現在4期目。科学技術を先導する人材を育成するための高度な理数系教育を研究・実践する)



同窓会・全国アカシア会会長 横本良二



名越達彦

全国アカシア会の会長。昨年7月、前会長向井恒雄(79)から引き継いだ。中学・高校時代、生徒会や体育祭の活動に積極的に参加。特に「先輩に憧れて」応援団に入ったのが、その後の人生で役立つたといふ。

進学した東京大で応援部主将となり六大学応援団連盟委員長も。以後、各地の地域アカシア会の会合・東大の同窓会・各種パーティなどに招かれて「フレー、フレー」とエールで会場を盛り上げた。「どんな逆境にあっても可能性を信じ自分自身、そして周囲を励ます生き方を学びました」

現在の会社への転職もオーナーから「夏の暑

い日、冬の寒い日、ひたむきに頑張るエンジニアを励ますことができる」と尋ねられ、「それなら

できます」と答えたひと言で決まったといふ。

はオリエンタルコーポレーションの会長。綱場一成(50)は昨年まで国際的な製薬企業の日本法人ノバルティスファーマの社長。福田真(72)はモルガン・スタンレー証券の会長、大藤俊行(66)はオリックス生命の社長などを務めた。

地場では中電工社長や広島県体育協会会長を務めた加藤義明(85)、元マツダ会長の金井誠太(71)、現在のもみじ銀行頭取小田宏史(59)がいる。さら

に福屋社長大下洋嗣(53)、シンコー社長筒井幹治(60)、中村角会長中村成朗(81)と有力企業経営者が並ぶ。児玉昇司(44)は高級バッグのシェアーピスをするラクサス・テクノロジーを起業した。

広島東洋カープのオーナー松田元(70)は付属中学生3年の時、クラブマッチでバレーボールに登場。サーブがよく決まつたのが面白く高校でもバレーボールを続けた。「自分がレギュラー、エースとして活躍できて自信をつけた」と振り返る。厳しい練習部活動以外でも一緒に過ごした楽しい時間も。そうしてできた仲間とのつながりは今も続く。

広島東洋カープのオーナー松田元(70)は付属中学生3年の時、クラブマッチでバレーボールに登場。サーブがよく決まつたのが面白く高校でもバレーボールを続けた。「自分がレギュラー、エースとして活躍できて自信をつけた」と振り返る。厳しい練習部活動以外でも一緒に過ごした楽しい時間も。そうしてできた仲間とのつながりは今も続く。

後輩へは「学業、クラブ、行事を通じ、付属という素晴らしい環境の中で大きく成長してほしい」。第一線を退いた後も精力的に活動を続ける人は多い。松尾康二(83)はカルビーの創業者松尾孝の次男。8歳の時、広島市西区で被爆した。東京大を卒業し毎日新聞記者を経てカルビー会長などを務めた。引退後は私財を投じてNPO法人「音楽は平和を運ぶ」や公益財團法人「松尾孝記念財團」を設立。音楽を通して平和を発信するため、「夏の第9」などの演奏会や東京オペラシングガーズの中国公演を行った。

中西巖(91)は被爆建物の保存運動に取り組んでいた。旧制の附属中学4年だった15歳の時、勤労運動で広島市南区の陸軍被服支廠にて被爆。自身は無傷だったが、全身にやけどを負い、血まみれになつた人々が逃げてきては息絶えた。

中国工業取締役最後に引退し、被爆体験の証言活動へ。14(同26)年には被服支廠の保全を訴える市民団体を結成。最大限保存するよう求めると署名を展開した。「現在の平和は尊い犠牲の上にあります。今、勉強できることがどれだけ幸せかよく考えてほしい」と若い世代に呼び掛けている。



中西巖

行ってきた。米大統領時代にオバマ氏が広島を訪問した際は、中国新聞などの全ページ広告で「オバマさん、戦争を廃絶してください」と訴えた。友人とともに入り2年から班長に。後にその友人たちと結成した同窓生の合唱団「コールアカシア」が現在の活動につながった。法人は専務の上野谷拓也(72)や常務の中村英(72)をはじめ同窓生を中心固める。



松尾康二

電力管理システムを開発するパネイル(東京)は2019(平成31)年3月、企業価値が110億円に達し、国内で2社目の非上場の大手ベンチャー企業になったと大きく報道された。同社を12(同24)年に創業し急成長させたのは社長の名越達彦(39)だ。

付属中学時代、初めて手にしたパソコンが面白くて家電量販店に通つめた。高校時代、バリ島で開かれたアップルのメディアキャンプに高性能

カーブオーナー 松田元

「高校人国記」は広島、山口両県を中心回つて、高校ごとに話題の卒業生をご紹介します。各校の情報をメールなどでお寄せください。

次回は12日から県立広島工業高校を掲載します。

(客員編集委員・富沢佐二)

II 敬称略

宛先は〒730-8677広島市中区土橋町7の1、中国新聞編集局「高校人国記係」メールは、bokou@chugoku-np.co.jp